

第35回企画専門調査会(平成22年9月28日)資料
 「(平成22年度)食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について」抜粋

物質名(危害要因)	主要な物質(危害要因)に関する概要	国内外における状況等
ガーデンハックルベリー	ガーデンハックルベリーは、ナス科の植物であり(ツツジ科の「ハックルベリー」とは異なる)、未熟果には毒性のあるソラニン類が含まれるとの報告がある。米国ではかなり一般的に家庭で栽培され、その実をジャムにしたり、パイに入れたりして賞味しているようであるが、現在までにヒトに対しての危害に関する報告は確認されていない。	〈国内〉 ・食品安全委員会による評価状況：なし。自ら評価候補として検討(H16)。Q&A公表(H19)。「熟していない果実を大量に摂取しないよう注意」と、注意喚起。 〈国外〉 ・米大学HP情報：未成熟果には毒があり、とても苦い。